

(独)産業技術総合研究所 創薬・バイオセミナー

2013年 3月15日(金) 16:00-19:30
(受付 15:30~)

16:00 ご挨拶

(独)産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター創薬分子設計チーム
創薬等支援技術基盤プラットフォーム「分子モデリングに基づく高度創薬支援」課題代表

広川貴次

16:10 「うつ病の診断治療のための基礎研究

- 神経栄養因子が担ううつ病創薬の側面とは -

(独)産業技術総合研究所 健康工学研究部門 バイオインターフェース研究グループ
(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業

小島正己

発表者の研究グループは、神経科学研究の経験を活かしながら、うつ病治療診断技術の開発に取り組んでいる。うつ病には、抑うつ症状、睡眠障害など様々な病態が多様に混在しているため、臨床現場の研究者とのブレインストーミングの時間を大切にしてきた。グループが注目しているのは、神経栄養因子BDNFと呼ばれる脳の成長因子である。BDNF研究の歴史、我々が開発した抗うつ薬抵抗性モデルマウス、その細胞病態、BDNFが担ううつ病創薬、バイオマーカー研究の側面、さらには、これらをもとにして臨床研究につなぐ方向性等を紹介する。

16:55 「フラグメントエボリューション法による抗寄生原虫創薬」

(独)産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 分子複合医薬研究グループ

古川功治

産総研、アステラス製薬、高エネ研、東大、東工大、長崎大、DNDi(国際NPO法人)が参画するコンソーシアム「顧みられない熱帯病(NTD)治療のための創薬共同研究」において用いられている最新の創薬技術、フラグメントエボリューション(FE)法と、実際の創薬の進捗を紹介する。

FE法はタンパク質の立体構造を基にした薬物設計法で、その成否は、標的となるタンパク質をいかに大量に調製して結晶化させるか、また、候補化合物の選別をいかに効率よく行うかに依る。さらに、標的タンパク質の動的な性質を評価・予測することにより、FE法のポテンシャルを飛躍的に向上させることができる。産総研にはタンパク質調製や結晶化支援・解析に関する技術、溶液中での候補化合物-タンパク質結合活性の評価技術、タンパク質の動的性質を評価・予測して創薬開発に活用する技術の蓄積があり、本共同研究ではアステラス製薬と産総研の持つ技術を相補しあい、FE法の標的の拡大と効率化を目指す。また、実際にリード化合物の創製も行う。

現在、寄生原虫由来の創薬ターゲットタンパク質ジヒドロオロト酸脱水素酵素についてX線結晶構造解析が終了しており、構造を基にした薬物設計をスタートしている。

18:00 交流会

定員70名 (先着順)

お申し込み/お問い合わせ

神戸市企業誘致推進本部 医療産業グループ
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
電話: 078-322-6341/Fax: 078-322-6072
e-mail: info@kobe-lsc.jp

神戸国際ビジネスセンター
(KIBIC)4階会議室

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-5-2
<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/kibic/>

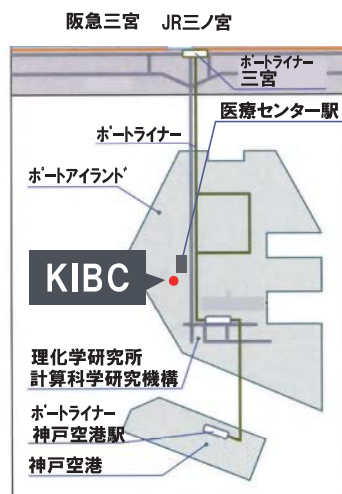
JR神戸線「三宮」、阪急・阪神・地下鉄「三宮」
または神戸空港からポートライナーにご乗車いただき、「医療センター」駅下車徒歩1分

参加無料

交流会は1人2,000円
を頂戴します。

※次頁の申込用紙、
またはメールで
お申し込み下さい

ACCESS MAP



産業技術総合研究所
創薬・バイオセミナー 参加申込書

《※切:平成25年3月12日(火)》

FAX 078-322-6072

E-mail info@kobe-lsc.jp

(神戸エンタープライズプロモーションビューロー 医療産業グループ行)

	1名目	2名目	3名目
①会社名			
②部署			
③ご役職			
④お名前			
⑤電話番号			
⑥E-mail			
⑦懇親会の 参加可否 (必須)	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加	参加 ・ 不参加

《お問い合わせ》

神戸エンタープライズプロモーションビューロー 医療産業グループ

TEL: 078-322-6341